

Cs-134, Cs-137 以外で検出されたその他 γ 線核種一覧（平成 25 年度）

平成 25 年度に環境省が実施した「平成 25 年度水環境放射性物質モニタリング調査業務」において、ゲルマニウム半導体検出器による分析を行った水質、底質及び周辺環境（土壌）について、測定データの解析を行い、放射性セシウム 134 及び放射性セシウム 137 以外の事故由来放射性核種（I-131、Ag-110m、Te-129、Te-129m、Nb-95、Sb-125、Ce-144 等）、及び主な自然由来放射性核種（K-40 等）に係るデータの整理を行った。

水質 3,860 検体、底質 3,062 検体、周辺環境（土壌）4,478 検体について解析したところ、以下の表に示す検体について、放射性セシウム 134 及び放射性セシウム 137 以外の人工核種が検出された。

周辺環境（土壌）

県名	区分	水域名	地点名	採取日	核種	放射能 (Bq/kg)	±誤差 (Bq/kg)	検出限界放射能 (Bq/kg)
福島	河川	前田川	国道 6 号線西側 (右岸)	2013/8/27	Ag-110m	1.36E+02	1.69E+01	4.37E+01

また天然核種としては、水質ではカリウム-40 (全検体数の約 13%)、底質では鉛-212 (同 49%)、鉛-214 (同 23%)、タリウム-208 (同 23%)、ビスマス-214 (同 25%)、アクチニウム (同 25%)、カリウム-40 (同 91%)、周辺環境（土壌）では鉛-212 (同 33%)、タリウム-208 (同 11%)、アクチニウム-228 (同 14%)、カリウム-40 (同 97%) 等が検出された。